

執筆者紹介

伊東 利勝 (いとう としかつ)

愛知大学文学部・教授。専攻：歴史学、東南アジア史。著作に『多民族共生社会のゆくえ—昭和初期・朝鮮人・豊橋』（あるむ、2007）、『ミャンマー概説』（編著、めこん、2011）、『南伝上座仏教と現代』（編著、愛知大学人文社会学研究所、2017）、などがある。

藤本 晃 (ふじもと あきら)

晋教寺・住職。専攻：インド仏教学(特にパーリ語聖典による原始仏教)。著作に「功德はなぜ廻向できるの？」(国書刊行会、2006)、『お布施ってなに？』(国書刊行会、2007)、『餓鬼事経—死者たちの物語』(サンガ、2016) などがある。

林 行夫 (はやし ゆきお)

龍谷大学文学部・教授。専攻：文化人類学、東南アジア仏教徒社会の宗教。著作に『生きている文化を人に学ぶ』(京都大学学術出版会、2017)、『新アジア仏教史4 (スリランカ・東南アジア)』(編著、佼成出版社、2011)、『ラオ人社会の宗教と文化変容』(京都大学学術出版会、2000) などがある。

藤本 透子 (ふじもと とうこ)

国立民族学博物館人類文明誌研究部・准教授。専攻：文化人類学、中央アジア地域研究。著作に『よみがえる死者儀礼—現代カザフのイスラーム復興』(風響社、2011)、『現代アジアの宗教—社会主義を経た地域を読む』(編著、春風社、2015)、『カザフスタンにおける喜捨の展開—アッラー・死者・生者の関係に着目して』(岸上伸啓編『贈与論再考』臨川書店、2016、161~182頁) などがある。

佐藤 彰一 (さとう しょういち)

日本学士院会員・名古屋大学名誉教授。専攻：西洋中世史。著作に『修道院と農民 会計文書から見た中世形成期ロワール地方』(名古屋大学出版会、1997)、『禁欲のヨーロッパ』(中央公論新社、2014)、『贖罪のヨーロッパ』(中央公論新社、2016) などがある。

## 功德と喜捨と贖罪 — 宗教の政治経済学 —

---

2018年3月1日印刷

2018年3月1日発行

編者 伊東 利勝

発行 愛知大学人文社会学研究所

代表者 伊東利勝

<http://taweb.aichi-u.ac.jp/irhsa/>

〒441-8522 豊橋市町畑町1-1

0532-47-4167

[irhsa@ml.aichi-u.ac.jp](mailto:irhsa@ml.aichi-u.ac.jp)

印刷所 東海電子印刷株式会社